

再犯防止×地方創生政策 ワークショップ型研修

令和6年9月2日～3日

研修の
目的

講師として招へいた**矯正施設所在自治体の職員と矯正施設職員が、再犯防止にも地方創生にも資する取組**として、矯正施設の人的・物的な活用等を**共に検討**し、**刑務所出所者等の地域生活定着**に向けた支援体制の充実化を図る。

基調講演

地方創生と再犯防止

立命館大学小辻准教授から、多様な属性・価値観で構成される「ブレンディング・コミュニティ型」の地域の居場所づくりについて御講演いただきました。



当課課長からの「**再犯防止概論**」、小辻准教授による**基調講演**により座学でも学びを深めました。



ワークショップでは、矯正施設職員と自治体職員でグループを構成し、自治体から事前提出いただいていた「**地方創生にも再犯防止にも資する取組の案**」を基に、自治体での取組を伺ったり、矯正施設について説明したりして、内容を更に深める作業を行いました。



成果
発表

結果発表

「矯正施設の人的資源の活用」「福祉事業所×少年院コラボ」「ユニバーサルDiningSAKAI」「少年院×デザイン」「バンブーバスターの育成と雇用」といった提言が発表されました。

研修修了後、全員で記念写真をパチリ!!



最優秀に輝いたのは、
「**かこのちゃんグッズで魅力発信**」

かこのちゃん©加古川市

加古川市

- ・市のキャラクターPR
- ・人口減少対策
- ・市民のふるさと愛の増進
- ・近隣市町への魅力発信



矯正施設（再犯防止に資する点）

- ・グッズ製作に関わることによる在所者・在院者の意欲の向上
- ・社会貢献による自己肯定感の向上
- ・矯正施設のPR

「居住支援」をテーマとした地域連携セミナーも開催しました。



会場：大阪合同庁舎講堂

令和6年10月8日（火）、
大阪矯正管区主催の居住支援
に関するセミナーを行いました。

開会の御挨拶

大阪矯正管区長

出所者において、適切な
帰住先の確保は安定した生
活を送る基盤となるもので
あり、居住支援に関わる皆
様の持ち味を生かし協働し
て進めていくことが重要と
考えています。



住宅セーフティネット
法の改正点（国土交通
省）と同法改正に伴う生
活困窮者自立支援制度に
おける施策等の拡充等
（厚生労働省）について、
それぞれの職員の方に直
接、ご出席いただき説明
を行っていただきました。

「いま求められる居
住支援」と題して、大
阪人間科学大学 石川
久仁子准教授による講
演をいただきました。

最後に、同准教授、
国土交通省職員、厚生
労働省職員を交えての
質疑応答を行いました。

閉会の御挨拶

矯正局

更生支援管理官付専門官

矯正施設も保護官署と
連携し、調整を行って
いますが、約2割の者が帰
住先の確保ができず出所
となっている現状がある。
引き続き、関係各所の御
支援を願います。

当日は76名が参加。

日本財団職親プロジェクト参加企業
更生保護施設
就労支援事業者機構
関係機関
矯正施設職員等



その他の矯正と居住支援の取組・ 意見交換会

（大阪府及び兵庫県）

居住支援法人様や市の居住支援協
議会様をお招きし、矯正施設の概況
説明や施設内見学を通して、お互い
の理解を深め、意見交換を行います。

